

# ひのほら 議会だより

2

2016.2.1  
No.144



## 檜原村消防団出初式が挙行されました

今年度新たに導入された指揮車とポンプ車

## 目 Contents 次

- P.2 村提出議案を可決 平成27年第4回定例会
- P.4 議案と議決結果
- P.5 各委員会報告
- P.6 一般質問 8名 12問
- P.11 視察研修報告

このようなことを審議いたしました

# 平成27年第4回定例会

11月30日～12月11日の12日間、開催し、村長提出案件13件、議員提出案件1件が提出され、すべてが原案どおり可決されました。

## 条例

徴収の納期限を9期から8期に改正するものです。

### 議案第80号

檜原村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

(説明)

檜原診療所の医師の定年を65歳に引き上げるものです。

### 議案第81号

檜原村税賦課徴収条例等の一部を改正する条例

(説明)

徴収猶予制度の見直し、及び個人番号法に関する規定を追加するものです。

### 議案第82号

檜原村国民健康保険条例等の一部を改正する条例

(説明)

国民健康保険税の減免申請書に個人番号の欄を設けるものです。

### 議案第83号

檜原村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

(説明)

後期高齢者医療保険料の普通

## 補正予算

業を条例化するものです。

診療施設勘定

補正額66万円を増額し、総額を2億2千315万2千円としました。

### 議案第87号

平成27年度檜原村一般会計補正予算(第3次)

(説明)

補正額1億5千279万円を増額し、総額を35億1千70万2千円としました。

歳入で主要なもの

財政調整基金繰入金

1億1千41万6千円

歳出で主要なもの

第三セクター設立出資金

9千500万円

### 議案第88号

平成27年度檜原村国民健康保険特別会計補正予算

事業勘定(第2次)

診療施設勘定(第2次)

(説明)

事業勘定  
補正額12万円を増額し、総額を4億3千417万1千円としました。

### 議案第89号

平成27年度檜原村簡易水道特別会計補正予算(第2次)

(説明)

補正額82万4千円を増額し、総額を1億6千751万1千円としました。

### 議案第90号

平成27年度檜原村東京都民の森管理運営事業特別会計補正予算(第2次)

(説明)

科目間の金額調整のみ行い、総額の変更はありません。

### 議案第91号

平成27年度檜原村下水道事業特別会計補正予算(第2次)

(説明)

補正額60万3千円を増額し、総額を5億4千767万9千円としました。

議案第92号

平成27年度檜原村介護保険特別  
会計補正予算(第3次)

(説明)

補正額61万1千円を増額し、  
総額を5億1千722万2千円とし  
ました。

## 議員提出議案

議員提出議案第2号

檜原村議会会議規則の一部を改  
正する規則

(説明)

議会における欠席の届出に新  
たに出産の場合の届出を規定す  
るものです。



## 議案第86号に対する討論(次ページ参照)

### 反対討論

吉川 洋

民間企業400万社が日本にはあ  
り、従業員の人たちはマイナンバ  
ーを提出する。自治体も約1,700あ  
る。ヒューマンエラーはあり得る  
し、脱法行為も行われる危険性  
がある。だからこそ世界で情報  
が漏れたり、また技術的にもそ  
ういうことが可能になっている。  
私たち議会としては、このマ  
イナンバーの問題点をきちんと  
把握して、そして地方議会から  
これは違うぞという声を上げな  
ければいけないと思うし、そう  
いう声が出せる機関である。  
そういう意味で、私はこのマ  
イナンバー法に関しては問題点  
を言い続けなければいけないと  
思う。  
それは私個人という問題では  
なく、私たちの子どもや周りに  
いる人たち、また日本全体を考  
えたときに自治体からそういう  
声を上げるべきであり、マイナ  
ンバー制度に私は反対する。

### 賛成討論

峰岸 茂

この条例は、「行政手続にお  
ける特定の個人を識別するた  
めの番号利用等に関する法律」に  
基づき個人番号の利用や特定個  
人情報の提供に関し必要な事項  
を定めるものである。  
村の責務として、個人番号の  
利用や特定個人の情報提供に関  
し、必要な措置を講じ、国と連  
携しながら地域の特性に応じた  
施策を実施するものであるの  
で、私はこの条例に賛成する。



## ご案内

### 皆様の「声」を

お寄せください

議会は新たな議員構成となり、  
議会だより編集委員会も新メン  
バーの皆様と議会を結ぶ大切な役  
割を果たしてまいります。

皆様からの「声」も届けていた  
だけるような親しめる議会だより  
にするため、議会傍聴者の声や郵  
送やメール等でいただく「声」な  
ど、可能な限り紙面で紹介してい  
きたいと考えています。

掲載についての規定は次のとお  
りです。  
1 掲載字数は400字以内としま  
す。

2 掲載希望のご意見について  
は、原則、記名で投稿していた  
だき、掲載時に匿名を希望する  
場合は、その旨を記載してくだ  
さい。

3 ご意見の議会だよりへの掲載  
は3名までとし、掲載希望者が  
多い場合は翌号で掲載します。

4 誹謗中傷は取り扱いません。  
5 意見に対して回答可能なもの  
は議会で協議し回答させていた  
だきます。

※ ご意見については要約するこ  
とがありますのでご了承ください  
い。

## 議会を傍聴しませんか

傍聴される方は、議会事務局入口で「議会傍聴届」に必要事項を記入していただいた後「議会傍聴券」を  
発行いたしますので、「議会傍聴券」をお持ちになり議場へ入場してください。

お問い合わせは、議会事務局へ TEL 598-1011

平成27年第4回定例会で審議された議案と議決結果

議長 森田ちづよ ○=賛成 ×=反対

区分	議案名	議員名	議席番号									議決結果
			1	2	3	5	6	7	8	9		
			浜中 由造	中村 賢次	吉川 洋	峰岸 茂	清水 兵庫	山崎 源重	山口 和彦	清水 満男		
条例	第80号	檜原村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第81号	檜原村税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	
	第82号	檜原村国民健康保険税条例等の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	
	第83号	檜原村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第84号	檜原村介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	
	第85号	檜原村下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第86号	檜原村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	
補正予算	第87号	平成27年度檜原村一般会計補正予算（第3次）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第88号	平成27年度檜原村国民健康保険特別会計補正予算事業勘定（第2次）、診療施設勘定（第2次）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第89号	平成27年度檜原村簡易水道特別会計補正予算（第2次）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第90号	平成27年度檜原村東京都都民の森管理運営事業特別会計補正予算（第2次）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第91号	平成27年度檜原村下水道事業特別会計補正予算（第2次）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第92号	平成27年度檜原村介護保険特別会計補正予算（第3次）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議員提出	第2号	檜原村議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

# 総務および産業建設委員会報告

## 総務委員会報告

総務委員会は12月5日に開催し、2件の所管事務調査を行いました。

埋め込みまたは直付け式のLED照明に交換、壁掛けスピーカー等の補強、戸棚の耐震ラッチ（地震の際扉が開いて中のものが飛び出すのを防ぐ金具）の追加、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る等の工事を行ったという事です。

体育館に設置されていた吊り下げ式の水銀灯も固定式のLED照明となり、スイッチオンで瞬時に明るくなるので好評だそうです。

### ○檜原小中学校非構造部材耐震化工事

契約金額 8千640万円  
契約業者 佐久間建設株式会社

非構造部材とは校舎の柱や梁、壁などといった構造体を除く部分のことをいいます。檜原小中学校校舎は新耐震基準で建設されているため、構造体の耐震化工事を行う必要はありませんが、天井板や照明器具、窓ガラスなどの非構造部材については耐震化補強が必要ということ、今年度工事いたしました。

内容としては、天井版を押さえている金具の補強や照明器具を吊り下げ式の蛍光灯から天井

やすらぎの里転落防止柵  
設置工事  
契約金額 105万8千400円  
契約業者 (有)市川建材土木

やすらぎの里の来客者用駐車場の先は急傾斜地になっているところがあり、車止めはあるものの、駐車の際それを乗り越えたり、間をすり抜けたりと、車が転落しそうになったことが数回あったということで、高さ



やすらぎの里転落防止柵

### ○御前山林道開設工事

この林道は藤原地区にある村道第67-2号総角沢線の先に位置する林道で、平成21年度より東京都が施工しています。

林道の計画延長は3千300mで平成26年度までに544mが完了し、平成27年度は113mを施工するとの説明を受けました。山林の維持管理・木材の生産には、多くの人手が必要です。

林道整備により、林業機械等が導入され、山林で作業する人の負担軽減や、林業生産性の向上を可能とします。

今後、開設工事が延長され林業経営の効率化、木材の利用拡大の効果が期待されます。

## 産業建設委員会報告

産業建設委員会は12月6日に開催し、東京都が管理する2ヶ所の林道について所管事務調査を行いました。

### ○入間白岩林道改良工事

この林道は、数馬地区と倉掛地区を結ぶ全長約6.5kmの林道ですが、現在、倉掛側の起点付近



入間白岩林道

から約700mが未舗装となっています。また台風等で法面の土砂崩れや落石の恐れがある箇所が数箇所あるため、段階的に法面の保護工事を行っています。平成27年度は2ヶ所の法面工事を行いました。

平成25年7月の笹久保地内の斜面崩壊による都道通行止めの際には、迂回路として活用されたこともあり、斜面や舗装工事を進めているとの説明を受けました。

委員長 清水 満男

# 登壇8人 村政を問う

## 一般質問

一般質問は11月30日に行われました。  
内容は、要約して受付順に掲載しています。

中村 賢次

議員



### インフルエンザの 予防接種について

高齢者の個人負担は1,080円  
に据え置き、一般は2,700円

① 檜原診療所でも接種単価を  
上げたのか。

② 65歳以上の方の費用負担の軽  
減は。

**村長** ① 一般の方の接種単価  
は、昨年度に比べて540円の値上  
げとなった。

② 高齢者の費用負担は、軽減を  
図る観点から個人負担を1,000円に  
据え置くこととした。

**質問** 一般の方や子供の予防接  
種について、診療所における自  
己負担額、村負担額、村の補助  
額はどうなっているか。

**福祉けんこう課長** 一般の方の  
接種費用単価は3,780円としてい  
るが、村では2,700円を個人負担と  
し、1,000円を助成している。子供  
への接種費用は、中学生までを  
全額助成しているが、他の自治  
体での助成事例は少ない。

**質問** 社協を含むやすらぎの里  
の職員全員に接種費用の補助は  
できないか。

**福祉けんこう課長** 感染予防は  
重要であり、社会福祉協議会等  
とも今後協議検討していく。

### この冬の「雪対策」は

#### 優先順位をつけ除雪対応

**質問** 昨年2月の大雪は、この  
100年記録にないほどの大雪にな  
ったことは、まだ記憶に新しい  
ところである。この冬も異常気  
象により大雪が降るとも限らな  
い。そこで村長に伺う。

① 積雪時の村内生活道の除雪対  
応は。

② 大雪になりそうなき、実際  
に大雪が降った時の住民への対  
応は。

**村長** ① 優先順位として都道、  
村道、生活道の順に行うことと  
している。

② 大雪になりそうな時は、地域  
防災計画に基づき職員を待機さ  
せ、防災無線、行政メールで注  
意喚起を行う予定。大雪が降っ  
た場合は業者による除雪を進  
め、業者ができない部分は住民  
の協力もいたたく。孤立が発生  
した時は、関係機関と連絡を密  
にして迅速に対応する。

**質問** 住民を対象とした防災に  
対する研修会等を行う考えはあ  
るか。

**総務課長** 地域の防災の要であ  
る自治会長、消防団の幹部を対  
象としたものから始められない  
か検討している。

**質問** 備蓄庫は現在自治会単位  
で設置されているが、隣組単位  
で小さな備蓄庫を置くことはで  
きないか。

**総務課長** 設置場所、管理の面  
等から、自治会長の意見等を聞  
き、考えていきたい。



大雪時の役場前

峰岸 茂

議員



## 神戸岩周辺の整備について

国立公園管理者と協議し計画的に整備を進めていきたい

④景観にマッチしたガードレール、沢沿いにかかる梯子、案内板等の設置について

**村長** ①安全確保の面からも路面補修は行う。トイレは都が設置したもので今年度改修すると聞いている。

②隧道内の拡張は荷重が変化する可能性があり難しい。橋梁点検は行っており、使用は問題ない。

③立木の修景作業は今年度中に行いたい。ヤマブキの植栽は自然公園の第2種特別地域であるので好ましくない。

④国立公園管理者と協議し、計画的に整備を進めていきたい。

**質問** ①隧道内の拡張は関係者からの強い要望なので、調査し拡張の検討をしてほしい。

②わかりやすい案内板の設置と現在ある石碑の位置変更を検討してほしいが、いかがか。

**産業環境課長** ①国立公園管理者と協議のうえ専門業者に確認し、検討したい。

②隧道手前の石碑や案内板は東京都等と協議し見やすいものにしたと考えている。

## 木質バイオマスの利活用と将来構想について

助成制度について検討し、制定していきたい

**質問** ①現在行っている木質バイオマス事業の現状は。

②木質バイオマス事業について、今後どのような事業展開を考えているか。

③薪ストーブ設置のための助成制度を創設できないか。

**村長** ①平成24年度に薪燃料製造施設を運用開始し、同年に温泉センター数馬の湯の薪ボイラーも稼動し、二酸化炭素の排出量削減に努めている。

②技術が進歩し、バイオマス利活用を取り巻く環境も変化しているため、現在構想の見直し作業を行っている。今後は、やすらぎの里などの公共施設へ木質バイオマス設備の設置等を考えている。

③村内で薪ストーブを設置した方、または検討されている方が増えており関心が高まっていると認識している。今後は助成制度についても内容等を検討し、

制定していきたい。

**質問** 薪ストーブ設置費用は、合計で120～140万円ぐらいするので、助成制度が必要と考えるが。

**産業環境課長** 個人負担をなるべく抑え、多くの方が利用できる助成制度を制定したい。

**質問** 最低でも設置費用の2分の1以上の助成ができないか。

**産業環境課長** 検討委員会や議員の意見も参考に検討したい。



薪ストーブ

浜中 由造

議員



## 読書活動の推進について

学校教育のみならず社会教育においても読書活動を推進

**質問** 活字に親しむことは人生を豊かにし、脳を活性化させる上で極めて重要と考える。そこで以下の点について伺う。

読書活動を推進する意義というものをどのように認識しているか。

**教育長** 活字を通じた読書活動

は人間が創造力を膨らませ、人間性の向上や豊かな人生を送る上で欠かすことのできないものであると考えている。学校教育のみならず社会教育においても読書活動の推進に、より力を注いでいきたい。

**質問** 読書通帳は、子どもたちが楽しみながら読書に取り組みよう工夫し、愛着をもって長く使い続けるようなもの、自分で携帯していつでも確認できるようなものが考えられないか。

**教育課長** 図書館と協議し検討していきたい。

**質問** ブック事業について小学校や中学校入学時に読んでみたい本の希望を聞いて、メッセージを添えて本を贈る等により、読書活動を後押しするような方が取れると考えるが、いかがか。

**教育課長** 児童の希望に沿った読書活動は大切なことだと考えており、前向きに検討を進めていきたい。

## ピロリ菌検査について

**国や東京都の動向等を見ながら検討したい**

**質問** がんは昭和56年以降、日本人の死因第1位となり、2人に1人が生涯のうち何らかのがんになる時代を迎えている。また平成26年9月には、世界保健機関である国際がん研究機関が胃がんの8割がピロリ菌によるものであり、胃がんの主要な原因であると認めたが、今後の村のピロリ菌検査の対応について伺う。

**村長** 村の胃がん検診では胃がん発見の精度が高く、治療に直結する胃X線検査を実施している。ピロリ菌検査の導入については国や東京都の動向等を見ながら検討していきたいと考えている。

**質問** 身体的な負担軽減とがん等の早期発見、予防受診率向上に積極的に取り組んでいる自治体がある中、胃がん予防と村民の意識向上のため、血液検査によるピロリ菌感染の有無と胃腸

膜の萎縮度を調べる検査をがん検診に導入できないか。

**福祉けんこう課長** 住民が安全・安心を確保できる状況で検診を実施する観点から現在の胃がん検診については国の指針に沿った検診を実施している。胃がんリスク検診を実施している自治体を今後調査・研究し、様々な面から前向きに検討していきたい。



がん検診車

吉川 洋

議員



## 未来に誇れる村づくりと当面の課題について

### 空き家や移住政策は最優先に取り組む

かがか。

**村長** ①人口目標2千500人の根拠は、審議会の委員により設定された数値である。現在の村総合計画における想定人口の達成は極めて困難であるが、人口減少を食い止めるために就業機会の創出と、住宅施策などの定住環境の整備をさらに進め、定住化と流入人口の増加を図っていくことが必要である。

②空き家対策と移住政策については最優先に財政措置をする。

**企画財政課長** 新年度予算では、空き家の活用、斡旋、特定空き家の対応等にかかる費用及び空き家のデータベース化の費用等を計上する予定。

**質問** ある自治体では移住者に対してモデルルームまでつくっているところまである。もっと村が主体になってやっていくべきだと思うが。

**企画財政課長** 先駆的な町村が全国にあるので、それらの事業を参考にしながら制度については考えていきたい。

重要な課題であり、思い切った財政の投入が必要と思うが、い

ての人口目標2千500人の根拠は何か。その人口目標を達成するために何が必要で、何が課題であると考えているか。

②空き家対策と移住政策も大変重要な課題であり、思い切った財政の投入が必要と思うが、い

ての人口目標2千500人の根拠は何か。その人口目標を達成するために何が必要で、何が課題であると考えているか。

ての人口目標2千500人の根拠は何か。その人口目標を達成するために何が必要で、何が課題であると考えているか。



教育行政のこころ

小林家住宅の看板は観光部局と調整、子ども議会の開催は前向きに検討する

**質問** ①重要文化財の小林家住宅を学校教育、社会教育ではどのように活用しているか。また、村内に小林家住宅の日本語と英語の案内看板設置により観光施策としてもっと活用すべきであるが。

②児童・生徒の議会傍聴や子ども議会について教育長の考え方は。

③来年度の教育予算についての考えは。

**教育長** ①重要文化財小林家住宅の活用については試行的に事業を行っている。学校教育においては3年生の社会科見学で、社会教育では村民ハイキング、小学生による宿泊体験を実施したところである。

②児童・生徒の議会傍聴、子ども議会などは小中学校から教育課程に基づいた計画と要望があれば前向きに検討するが、議会

や村当局にも理解と協力を願いたい。

③来年度の教育予算は、村内の各施設を利用した生涯学習の充実、コンサート、演劇鑑賞等や感動体験事業の実施、海外派遣事業等の人材育成事業、小林家住宅の活用事業、伝統芸能の継事業、教育施設の整備など教育環境充実事業等の予算化をお願いした。



重要文化財小林家住宅

山口 和彦

議員



更なる観光振興を目指して

立体駐車場も視野に入れ、様々な可能性について検討したい

ヨンに取り入れ、ガイド養成に取り組んでいきたい。

②早期にエコツーリズムに対する総合的な施策を立ち上げ、地域住民、観光業者が一体となり取り組んでいきたい。

③駐車場拡幅の用地がないため、周辺も含め検討していきたい。

**質問** ①観光バスで訪れるお客さんを対象に村を紹介するプロモーションビデオを作れないか。

②エコツーリズムを立ち上げる過程で学生インターンの意見を聞いてほしいが。

③村の観光振興を考え、滝周辺に立体駐車場のような大規模な駐車場が必要と考えるが。

**産業環境課長** ①新しい発想でとても良いと思うので検討する。

②エコツーリズムの知識を持った学生に参加いただき外から見

た意見も取り入れていきたい。

③駐車場不足の解消に向け、立体駐車場も一つの方策として視野に入れ、様々な可能性について検討したい。

①簡易水道の南秋川水系における更新の時期は。

**質問** ①観光ガイドの養成等はないか。

②今後の観光施策にエコツーリズムの考え方を取り入れていくべきと考えるが。

③払沢の滝の駐車場の不足していると考えるが、対策は。

**村長** ①現在策定中の観光ビジ

清水 満男

議員



安全で安定した給水について

全体計画を来年度策定し、南秋川水系の施設を更新していく

**質問** 南秋川水系は創設より39

年が経過し、将来的には更新すると聞いているが左記について

①簡易水道の南秋川水系における更新の時期は。

②浄水場のろ過方式はどのようなか。

**村長** ①水道施設の更新時期は全国的には80年程度となつてい

るが、耐震化や漏水等に対応するため、全体計画を来年度策定し、更新していきたいと考えている。

②水質や環境調査、費用対効果を検証し、検討したい。

**質問** ①施設を更新する際、浄水場と配水管のどちらを先に更新するのか。

②どのような過方式があり、メリット、デメリットは。

**産業環境長** ①浄水場の更新を先に行い、その後配水管の更新が望ましいと考えている。

②緩速ろ過方式はおいしい水が作れると言われているが、広い土地、原水がきれいなことが条件で砂替えが必要とのデメリットがある。膜ろ過方式は省スペースに短い工期で設置でき、運転が自動化しやすく手がかからないが、初期費用が高価であり、膜や電気設備等の点検、薬品の購入、電気が必要で維持費等は高めである。全体計画を策定し、ろ過方式を決定したい。

**質問** ①観光案内パンフレット、観光案内看板等に外国語表記を加えるべきだと思うが。

②村の主要施設にWiFiを設置し、村の情報や魅力を伝えるために外国人向けサイトを作っているかどうか。

③外国人を対象としたツアーの企画ができないか。

**山 源 重**

議員



## 外国人観光客への対応について

パンフレットは来年度内容等を精査し作成する

企画ができないか。

**村長** ①パンフレットは来年度に内容等を精査した上で作成したいと考えている。案内看板も外国人が見てわかりやすいものにする。

②設置施設やサービス内容を調査し検討する。外国人向け案内サイトは村の情報発信ツールとして都や関係機関とも連携し、進めていきたい。

③観光協会や旅行者、関係機関等とも綿密な調整を図りながら進めていきたい。

**質問** ①パンフレットは英語版、中国語版、韓国語版を別に作成することを提案したい。村に隣接した観光スポットにパンフレットの設置ができないか。

②村内の観光事業者にWiFi設置費の助成を検討してほしいが。

**産業環境課長** ①3言語について別々のパンフレットを作成したいと考えている。いろいろなところに置いて普及に努めていきたい。

②事業者の意向も確認しながら検討したい。

**質問** 村は育英資金貸付基金を設置し、学ぶ意欲のあるものに対し勉学の機会を支援しているが、条例の見直し及び項目、運用について追加が必要と考え、以下について村長の考えを伺う。

①基金の貸付要件について入学

**清 水 兵 庫**

議員



## 育英資金の見直しはできないか

制度設計から再構築を考えたい

に必要な貸付とあるが、これに教育上必要な資金、修学に要する費用とし、金額の増額と返学期間の見直しができないか。

②大学と高等学校及び専修学校を分けて対応すべきと思うが、いかがか。

③海外留学も対象とできないか。

**村長** 基金の目的が教育分野を対象としているので管理、運用等は教育委員会で行っているが、基金全般にかかる村の考え方について答える。

①基金の目的が社会に貢献する有為な人材を育成するとし、現在の入学準備金のみならず、在学時の学費など奨学金的要素を加味し、制度設計から再構築を考えたい。よって条例の見直しを今後検討していく予定。

②学校により修学年数が異なるので、条例の見直しに伴い再考したい。

③海外留学の形態が短期・長期と様々であり、基金の対象とすることが可能か含め検討したい。

# 視察研修報告

総務委員会並びに産業建設委員会では、合同で10月8日から9日の2日間、福島県岩瀬郡天栄村と南会津郡南会津町を視察しました。

	天栄村	南会津町	檜原村
面積(k㎡)	225.6	886.5	105.4
人口(人)	6,031	17,029	2,373
世帯	1,894	6,869	1,180
高齢比率(%)	28.6	37.1	46.5
平成26年度一般会計決算額(億円)	68.4	140.6	35.2
職員数(人)	88	186	56

(平成27年4月1日現在)

## 再生可能エネルギーの活用について

天栄村は昭和30年に湯本村、牧本村、大里村、広戸村が合併して誕生し、福島県白河市の西に位置しています。名前は村の中央部にある天栄山に由来しています。東部は降雪の少ない太

平洋側気候で耕地が拓けており、西部は日本海側気候で積雪は2メートルに及ぶこともあるそうです。面積は25.6平方キロメートルと檜原村の2倍以上あり、90パーセントが山林原野です。高齢人口比率は26パーセントと檜原村より6割程度低くなっています。

今回の研修では「風力発電事業」、「地中熱と沢水利用農業ハウス」について現地視察をさせていただきました。

最初に小山議長より村の概要の説明を受けました。特に米、ネギ、ヤーコンについては三大ブランドの特産品とのことでした。

次に産業振興課の職員より風力発電、地中熱と沢水を利用した水耕レタス栽培について説明を受けました。

風力発電施設は平成7年に村営スキー場のグレードアップ化を目的とした構想に基づき導入されました。風況精査、風況シミュレーション等を行ったうえで利益が出ることを把握し、オ

ランダのラガウェイ社製750キロワットの風車4基、合計出力3キロワットの導入を平成11年12月に決定し、事業に着手、平成12年12月に竣工しました。総事業費は10億274万円、国からの新エネルギー取組補助金5億3千399万円を除いた残額は天栄村財政調整基金で賄ったそうです。

現在までの東北電力の売電額は8億8千730万円、月平均422万円の売電額となっています。発電量は1年の中で4月から9月は11から12パーセントと少なく、10月から3月は32から45パーセントと多くなっています。

村には売電収入が直接入り、財源確保ができるものの、故障時のメンテナンスによる負担が大きく、特に雷被害が怖いということでした。その他風力発電に精通した職員の確保が難しいとのことでした。

実際に風力発電施設の現場を見学させていただきましたが、想像をはるかに超える大きさに圧倒され、計画の重要性を認識しました。

風力発電施設を建設するには3つの道が必要と言われています。

一つに風の道、二つに電気を送る道、三つに物を運ぶ道。この条件がそろわないと建設は難しいとのことでした。檜原村においてはこの3つの条件にあう場所はないように思われ、実現は難しいと感じました。



巨大風車を見上げる



フレタスの水耕栽培を行っている。まだ実証段階であるため、生産も現在は9千株程度であり、人件費が賄えるほどで、利益は出ていないそうです。レタス以外にもトマトの栽培に着手しています。

水耕レタス栽培は低農薬で安全、清潔で丸ごと食べられ、根付出荷により鮮度の保持が可能、病害発生時もベッド毎独立しているため最小限の被害で食い止められる、周年出荷が可能など良いことづくめです。試食させていただきましたが、やはりおいしくいただけました。今後はいかに回転よく生産出荷ができるかが課題であると思われました。

その他にも天栄村では生物多様性の農業を推進することを進めており、食品の安全、環境保全向上に努めています。このように天栄村では行政が積極的に新規ものづくりにチャレンジしている様子が伺えました。今回の研修で、いろいろチャレンジしていくことが村の発展につながることを教えられました。

産業建設委員長

清水 満男



天栄村での視察

南会津町の空き家対策を視察して

南会津町は、福島県の南西部に位置し、東北地方の南の玄関口となる地域です。東西43km、南北38km、総面積886.47km<sup>2</sup>（檜原村の約8.4倍）で福島県内では二番目に広大な面積を有しています。

歴史は古く、石器、土器の出土により縄文時代以前から先人の居住が知られています。鎌倉時代に長沼氏の所領として田島地域にお城が築かれ、江戸時代には、館岩・伊南・南郷地域とともに幕府直轄「天領御蔵入」となり、その後も会津西街道の

主要宿場町として栄えました。平成18年3月20日に田島町・館岩村・伊南村・南郷村が合併して現在の南会津町が誕生しました。

今回、総務委員会では、空家対策について先進的に取り組んでいる南会津町を視察してきました。

国は平成27年5月26日、空家等対策の推進に関する特別措置法を施行しました。南会津町ではそれより1年以上早く空家等の適正管理に関する条例を制定していました。南会津町でも過疎化や高齢化、又は経済的

事情などにより、空き家等が放置され適正に管理されず倒壊や防犯上の問題など周辺住民への生活環境の悪影響が課題となりました。このような状況を改善、防止し、地域の良好な景観の保全と住民の安全で安心な暮らしを確保することを目的として条例が制定されたと伺いました。

南会津町には空き家調査の結果633件の空き家があり、空き家対策として、①条例に基づく指

導②危険空き家等除却事業補助金の創設③空き家バンク制度の創設を行い、空き家の活用や、適正な管理の啓発を推進していました。

印象に残ったのは、空き家調査による建築物の老朽度・危険度判定基準が、細かく点数化されていたことです。その合計点数により判断し、助言・指導を実施していることでした。

檜原村では平成27年に空き家調査を実施しました。その結果296件の空き家がありました。全戸数に占める割合は21%を占めています。檜原村でも定住促進

空き家活用事業を行っています。改善の余地がありそうです。

南会津町での視察



南会津町での視察

東京オリンピックが2020年に開催されます。檜原村にも観光客や外国の人なども多く訪れると思います。村のイメージを悪くしないためにも、空き家対策は急務の課題ではないでしょうか。

今回の南会津町の視察で得たことを、今後の村の空き家対策や行政に生かしていきたいと思っています。

総務委員長 中村 賢次

総務委員長 中村 賢次

3月議会のお知らせ

(予定)

- 定例会初日 3月2日(水)
- 予算特別委員会 3月10日(木)
- 3月11日(金)
- 常任委員会 3月15日(火)
- 3月16日(水)
- 定例会2日目 3月22日(火)
- 定例会最終日 3月25日(金)

編集後記

昨年は議員となり、多くの方々に会う機会を通していろいろな経験をさせていただきました。現在、SNS等のITは日常生活には欠かせない人も多いかと思われれます。しかし、ITで大量の情報、多くの人とつながることができても、人生の確かな充実を得ることができるとは限りません。「便利」が即「幸福」とはいえないと思います。

ある新聞記事に「伝達用の『知識』としての言葉は、リアルな実体験や対話、熟議といったコミュニケーションを通じて初めて人間にとって必要な『知恵』のことばへと発展していく」とありました。

日進月歩の情報社会の中にあつて、人とかわり合い、励ましあうことはこの『知識』を『知恵』に昇華させていく点にもあるといえるでしょう。

まだまだ寒い日が続きます。あたたかな言葉は心をも温かく減らし、人と向きあってみたらいかがでしょうか。

議会だより編集委員会では皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

- 委員長 峰岸 茂
- 副委員長 清水 満男
- 委員 浜中 由造
- 吉川 洋